新庁舎建設特別委員会の概要（第３１回）

１　日　時　　第３１回　令和７年３月３１日（月）
　　１３時３０分～１５時１０分

２　場　所　　第１議会委員会室

３　欠　席　　森厚夫委員

４　内　容　　１　整備地の決定に至らなかった理由について
　　２　その他

令和７年第１回定例会にて新庁舎の位置を定める条例が、可決されなかった要因について協議を行った。

１　整備地の決定に至らなかった理由について
【委員会で出た主な意見】
〈委員〉しっかり反対した理由を示して、それに対して執行部がどうしていくのか方向性をまず決めて協議する以外ない。
〈委員〉拙速であった理由を話していく、社総金についてまだ疑問を持っている議員もおり、もう少し深めていく。プラザちゅうたいと体育館移転を一体化して進めるということについて議論を深めていった方が良い。
〈委員〉市民アンケートを取って上位に防災に強い庁舎があった。それに対して、プラザちゅうたいは水害のリスク、特に加茂川の水害のリスクがかなり高い。なぜ一番リスクが高いところに持っていくのか疑問がある。プラザちゅうたい、分庁舎、図書館といった有効に使用できる財産がまだ有効期間、使用期間長寿命化計画によってまだまだ使えるところを解体してまで今進めることが本当にランニングコストをトータルして進めた方が安いのか疑問である。震災に備えてプラザちゅうたいは、太田地区においてとても大きな役割を果たし、真夏真冬に対しての避難場所としてはとても大きな役割になっていくと思うが、それに対する回答がまだ整理がつかない。
〈委員〉執行部が議会から出した質問に対して、資料を揃えてきたので、それ以上何を望んでいるかということをはっきりと明確にしてほしい。
〈委員〉アンケートは取らずに議会と執行部で協議の上、決定するということになっていたが、詳細を説明してもらい開いた会議が２回だけで、判断できなかった。条

例で新庁舎がプラザちゅうたいの位置に決まるという確定がなくてもプラザちゅうたいを候補地として決めた理由、それによって体育館や図書館がどうなっていくのかという話は市民にしっかり話をしていく必要がある。

〈委員〉約124億から133億以上のプロジェクトになるプロジェクトの内容の説明が1か月足らずで答えを出せというのが、市民に説明がつかない。

〈委員〉議論がないまま3月19日に上程され、拙速で中身がまだまだ詰め切れてないという段階では、賛成はできなかった。プラザちゅうたいに方針決定はいいが、これだけの大きなことで、やはり方針説明とビジョンを示す必要があるのではないか。新体育館の場所が絞り切れていないということも問題である。

〈委員〉ちゅうたいを壊して作るとなると費用がすごくかかる。国から補助がもらっても市から出すのが大きく、新庁舎にプラスしなければいけない。同時にやるわけで、畜産研究所よりも金額が大きくなるということになる。ちゅうたいをまだ壊す必要はない。

〈委員〉スケジュール通り決めたい、といってもプラザちゅうたいという発表が遅すぎた。将来負担比率、実質公債費比率とか聞いたが、発表もないまま社総金が下りるということで説明されたが、納得がいかなかった。市民にも説明のしようがない、もう少し時間をとり、議員に納得させて、そして議員からから市民、身近な人にも説明して、そして市民がOKと言えば、私はプラザちゅうたいでも現庁舎でもどこでもいいと思う。可能性調査が出た後にもう一回情報を公開しながら市民の声を聞く機会を作らなければいけなかったのではないか。

〈委員〉新庁舎をプラザちゅうたいに建て、体育館を前平公園周辺に建てるのには夢がある。位置条例が決まらなければ、計画を進める予算も執行できず、まずは位置条例を決めて、疑問があるところは付帯決議を付けて進めればよいと思う。

〈委員〉反対する大きな理由は、体育館が休館するということである。体育館をあと10年と言われるが、前平に移転していくこと自体は十分な選択肢だと思う。プラザちゅうたい案は直接的ではないが、駅南の市街地の活性化ということの範疇には入る。市商業ビルでシティホテルの運営をやめた時にどうするのか取り壊してその跡地をどうやって使うのかということまである程度の方向性を出すことが大事である。

〈委員〉こういう結果になったことは、早々と進めるというのではなく、何ヶ月か先を見据えて、社総金も5月、6月に出そうとかっていうのをそんなに焦ることなく理解をして進めるべきだと思う。市長選ではっきり示して市民の意見になるような選挙にすれば、市民皆が納得するというようなところにも沿うのではないか。

〈委員〉新庁舎の条例が否決されたのにそれが新年度予算としては残っており、この後処理は誰がどう説明するのか、議員一人一人にも責任がある。

〈委員〉説明会を議会で決める前に開催してほしい。

→説明会については、これまで答えてきた通り、最終的に議会で決めるということを、半年前に決定したので、議会の中での塾議が重要だと考えている。市が説明会をしても決めるのは議会でどう決めるかは分からないというような終わり方になって

しまう。議会が説明会を開くというところに資料提供をし、市民の意見を議員が吸い上げて、議会としての結論を出すという流れであると説明はしやすいと思う。

→避難所の周知について、新庁舎をプラザちゅうたいに持っていくから新たに避難所として開設したところ１つもない。家族で防災会議、地区の防災訓練の時にどこが避難所なのかということは常日頃からやっている。

〈委員〉執行部案の変更の予定はあるのか。

→現状方針は変えるつもりはないが、いただいた意見に対して修正、まだ検討できるところは決められない部分もあるが、一つ一つ埋めていきたいと考えている。

→市民への周知、体育館利用者の聞き取りといったことは必ずやっていく。どの段階でやっていくのかタイミングの問題があり、まだ議会と詰め切れていないという状況で市民に話はできないが、話せる段階になった場合は議会にこういった話を市民にするということを説明した上で、必ず進めていく。

→新年度予算は可決されたが、基本計画を策定していく上では、新庁舎を整備する場所がどこかに決まっていないと、実行はできない状態であり、予算執行できない。

【まとめ】

本日協議の中で出た意見について次回協議を行い、意見を集約しまとめる。